

新年度、 5つの課題を掲げました。



1 行政が責任を果たし、信頼を確立する。

2 市民協働を実現化する。

3 子どもから高齢者までが
安心、安全、元気に暮らす環境をつくる。

4 合併時未調整課題を早期に克服する。

5 将来の財政状況を見通し、
経常経費削減を強化する。

1 行政が責任を果たし、
信頼を確立する

前述したとおり、市発足以来、基礎づくりをテーマとして取り組んできましたが、3年目を迎えて、各種事業を具体化する時期にきています。

計画を確実に実行すること、行政としての責任を果たし、信頼される行政の実現を図らなければなりません。

本年度の総合的な課題として、市が最初に掲げる大きなテーマです。

5 将来の財政状況を見通し、
経常経費削減を強化する

市町村の合併の特例等に関する法律により、財政的には10年間の恩恵を受けていますが、市も誕生から3年目の年を迎え、この特例措置の残された期間もだんだん短くなってきています。

このため、長期的に財政基盤を強化していく必要があります。平成20年度を初年度とし、「経常経費」の継続的な削減に重点的に取り組む必要があります。

これらの5つの課題を踏まえ、予算編成を進めてきました。本号では、このように編成された予算の中から特徴ある事業について、いくつか紹介します。

安曇野市は本年度、誕生から3年目の年を迎えます。

昨年度は、総合計画をはじめとした各種計画が次々と誕生し、市政の基礎づくりが進み、目指す方向が定つてきました。

地方財政は昨年に引き続き厳しい状況にあります。本年度の予算編成では、策定した計画に沿った事業をできる限り実行に移すこと、また、財政健全化の推進に向けた行財政改革を一層進めることなどを念頭に、次の5つの重点課題に対応できるように編成しました。

3 子どもから高齢者までが
安心、安全、元気に
暮らす環境をつくる

少子高齢化対策の問題は幅広い分野に及んでいます。子どもから高齢者まで、特に行政の支援を必要とされる皆さんが、元気に暮らせる環境を整備することは、欠かすことができない課題となります。

4 未調整課題を
早期に克服する

市役所本庁舎問題と行政組織のあり方、土地利用計画やこれらにかかわる各種計画の策定、上水道事業・下水道事業の統一化などについては、市民の利便性や負担という面で、差異や地域間での格差が大きく、合併時からの大きな課題となつていきます。

このため、これらの未調整課題を早期に克服し、一定の方向に固めていくことに取り組んでいきます。

2 市民協働を実現化する

市の基本方針には「市民と行政の協働によるまちづくり」が掲げられています。市では昨年度、市民の皆さんとともに、「市民と行政の協働のまちづくり指針」を策定しました。

市民が果たす役割、行政が果たす役割を見直し、また、お互いがそれぞれ役割を理解したうえで、一つひとつの事業において、地方分権時代にふさわしい活動が形成できるようにしていく必要があります。

行政活動が行政のみの活動として行われるのではなく、市民との協働に基づいて行われるようにすることを重点課題として考えました。



特集◎
新年度予算